

# 金山町街なか公営住宅

[応募者名] 勤務先名：金山町役場 金山町長 鈴木 洋 勤務先住所：山形県最上郡金山町大字金山324-1  
 連絡先（勤務先） TEL 0233-52-2111 FAX0233-52-2004  
 [設計監理] 氏名：阿部利広 勤務先名：阿部建築研究室 勤務先住所：山形県最上郡金山町大字山崎327  
 連絡先：TEL0233-52-2318 FAX0233-52-2098 Email: architect@aads.info

## ●地域性への配慮事項

山形県金山町では、昭和30年代より全町民が参加できる取り組みとして「美しい環境づくり、景観づくり」を行政の主要施策に位置づけ街なみづくりを行ってきた。このような取り組みを続けてきた成果の一つとして、平成22年度には、都市景観大賞の「美しいまちなみ賞」大賞を受賞している。

このような取り組みのなかにあっても、いくつかの課題が出てきている。一つ目として全国的な課題でもある少子化に伴う人口の減少がある。二つ目として伝統的な金山住宅の着工数の減少による景観の悪化がある。金山住宅の着工数の減少は、町の基幹産業である林業の衰退につながり、産業面への影響も目立ち始めている。三つ目には、町内の中心部で空き地等が徐々に増えてきていることによる景観の悪化がある。

以上に見てきた地域の課題を解消するための取り組みとして、この度「金山町街なか公営住宅」を建設した。一つ目の課題への対応として、子育て世代が使

いやしく、町に長く住み続けられるよう一戸建の住宅とした。二つ目の課題への対応として、景観の悪化を防ぐため、伝統的な金山住宅の様式(切妻屋根、白壁、金山杉を使用する等)で建設した。三つ目の課題への対応は、町の中心部の空き地に住宅を補うように住宅を建設することで、基礎インフラを極力整備せずに、コストの削減をおこないつつ、既存コミュニティの維持も期待できる計画とした。

街なかに点在する空き地に「金山町の風景と調和した街並み景観条例」に則った木造公営住宅を建設する計画を5年間実施していくこととしている。

## ●作品の概要

- 事業主体 山形県金山町
- 設計者 阿部利広 / 阿部建築研究室
- 施工者 大柳住宅A棟 尚青柳工務店  
大柳住宅B棟 高橋建築  
本町住宅A棟 正建  
本町住宅B棟 今田建築

□事業制度 公営住宅整備事業

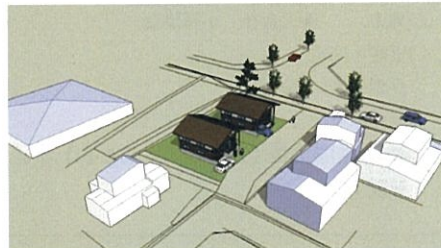
□計画概要 木造2階建て 在来軸組み工法  
 延べ床面積 116.75㎡ 建築面積 72.21㎡  
 使用木材(金山杉等) 一戸当たり 数量約20㎡

## ●作品の特徴

伝統的な在来工法で高性能な木造住宅、耐震等級2、劣化対策等級3、維持管理等級3、省エネルギー対策等級4、高齢者配慮等級3を実現した。それは、すべて金山杉を使った金山大工の手によるもので、床は厚さ30mmの杉板にするなど、木のぬくもりが感じられるよう金山杉をふんだんに使用した作りとなっている。特別豪雪地帯である金山町の豪雪に対応するため高床とし、併せて通勤・通学時に自家用車を使用する頻度が高い事情を踏まえ屋内に駐車場を設けた。



大柳住宅 配置計画



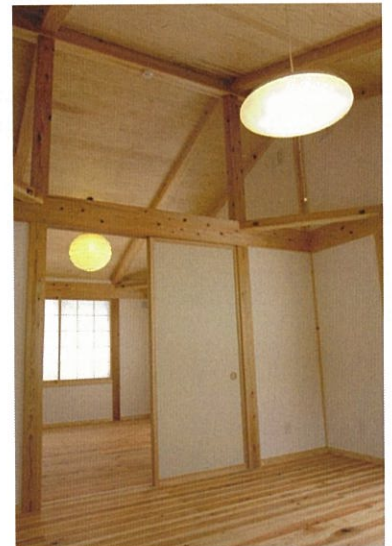
本町住宅 配置計画



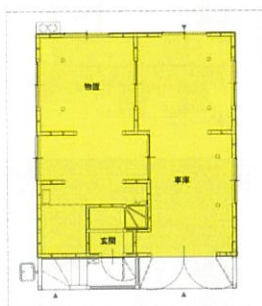
大柳住宅 完成予想図



本町住宅 完成予想図



金山杉の内装



1階



2階



本町住宅完成風景